

# 施設の利用可能電力量

沖縄空手会館

# 利用可能電力量 計算例

**定格電圧** 100V  
**定格周波数** 50-60Hz  
**定格消費電力** 1010W

まず、よく機器の裏面にある定格消費電力をお確かめ下さい。  
 定格消費電力=すべての機能を最大限に使用した場合の消費電力

電力式

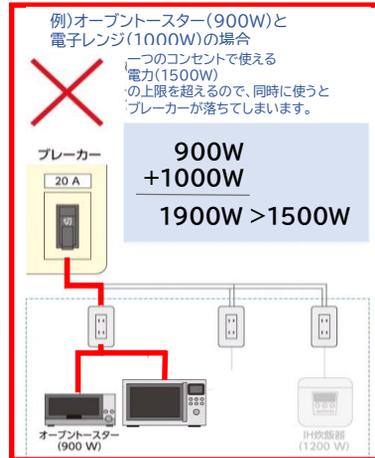
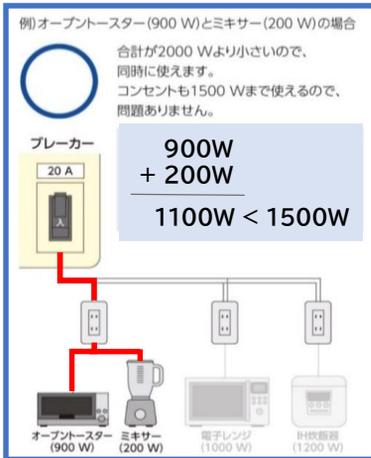
$$\text{電流} I \text{ (A)} \times \text{電圧} V \text{ (V)} = \text{電力} P \text{ (W)}$$

※コンセントやブレーカーには、同時に流せるアンペア数の上限があります。

一つのコンセントに流せるアンペアは、15A (アンペア) です。

$$15 \text{ (A)} \times 100 \text{ (V)} = 1500 \text{ (W)}$$

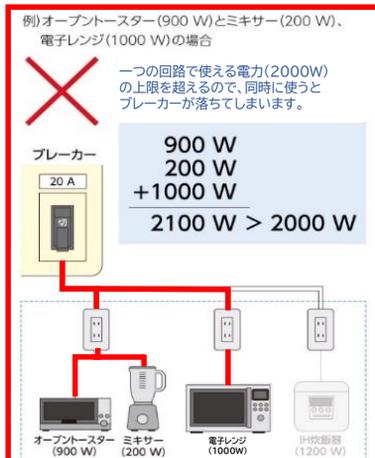
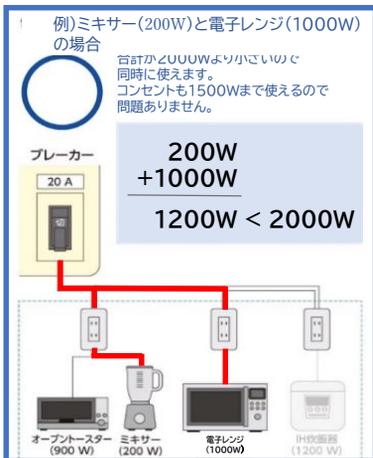
1 コンセント利用可能電力量 < 1,500 (W)



ブレーカーは20A (アンペア) です。

$$20 \text{ (A)} \times 100 \text{ (V)} = 2000 \text{ (W)}$$

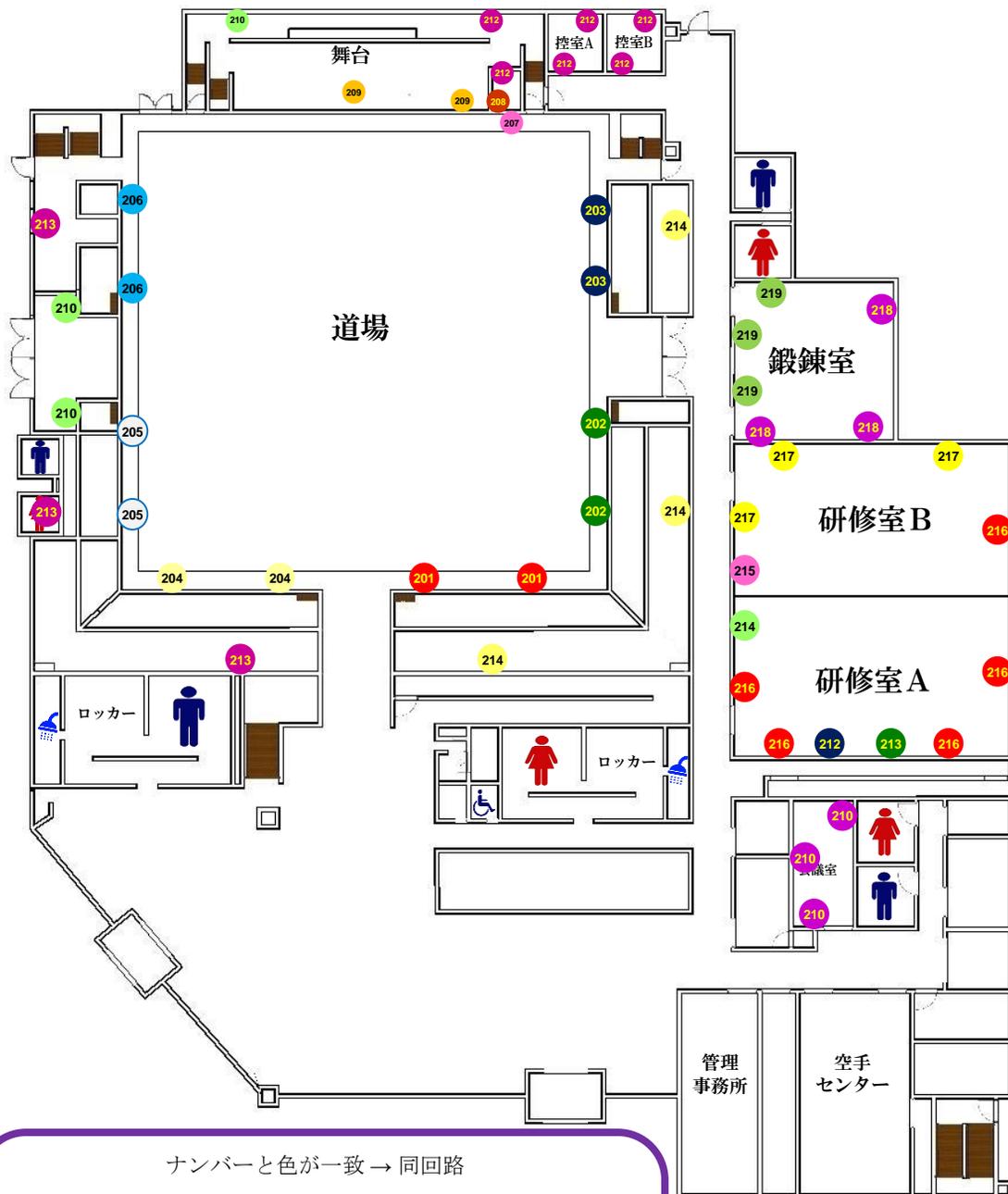
1 回路利用可能電力量 < 2,000 (W)





# 施設の利用可能電力量図

(武道施設)



ナンバーと色が一致 → 同回路

- 1 コンセント利用可能 < 1,500W
- 1 回路利用可能電力量 < 2,000W

※同回路に多数接続すると、ブレーカーが落ちる可能性があります。  
機器が多い場合、別回路のご利用をお勧めします。  
コンセントに図と同色のシールが貼られています。ご確認ください。

